

防災、平和の取り組み、その他

11月2日 災害時官民連携協力強化のための意見交換会参加 <県民生活部危機管理課主催>

栃木県と「災害時における応急生活物資供給に関する協定」を締結している事業者が集まり、災害時における県と事業者の連携強化を図り、円滑な物資供給体制を構築するため、意見交換を行いました。

10月14日 ヒパクシャ国際署名発起人会議に出席

核兵器廃絶国際署名に、栃木県生協連合会全体では16,586筆の署名がありました。この署名活動は「ヒパクシャ国際署名」推進連絡会に参加する団体を中心に運営されており、日本生活協同組合連合会も参加しています。



ユニセフハンドインハンド募金

今年度のユニセフハンドインハンド募金は、3会員で実施し合計 28,686円となりました。

ブリヂストン那須グループ生協	¥5,201	よつ葉生協	¥7,205	栃木県生協連	¥16,280
----------------	--------	-------	--------	--------	---------

NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動

12月6日、学習会「消費者契約法を生かす」を主催しました。

啓発や事例検討委員会(毎月開催)の向上を目的に、既に認定を受けて活動している適格消費者団体の実例をお聞きしました。弁護士や消費生活相談員など、参加者30名となりました。

- ・演題:消費者契約法を生かす～差し止め請求ができる事例と法律の活用～
- ・講師:適格消費者団体埼玉消費者被害を無くす会副理事長、検討委員会委員長 弁護士 長田 淳 氏

おしらせ

1月～3月の活動・予定

1月1日(月)	下野新聞社「2018TOP INTERVIEW」掲載
2日(火)	とちぎテレビ「新春トップに聞く」に出演
1月4日(木)	宇都宮市賀詞交歓会、小山市賀詞交歓会
5日(金)	新春の集い(連合)
16日(火)	新春賀詞交歓会 常務理事会
18日(木)	2017年度協同組合交流会
18日(木)	NPO法人とちぎ消費者リンク事例検討委員会
19日(金)	大田原市へ行政訪問
25日(木)	第6回役員・幹部職員定期学習会
30日(火)	消費者ネットワーク幹事会
2月13日(火)	定例理事会
15日(木)	消費者フォーラム(伊勢崎)
3月16日(金)	?
19日(月)	沖縄県研修視察

2018年新春賀詞交歓会

1月16日(火)17時～
宇都宮東武ホテルグランテ

協同組合交流会
【林業を知る】
1月18日(木)13時
JAビル集合

学習会
種子法について
3月15日(木)午後
とちぎ食の安全
ネットワーク全体会

とちぎの生協

〒320-0024 栃木県宇都宮市栄町1-15 栃木県開発センタービル2階

TEL:028-624-6650 FAX:028-624-6652

http://tochigikenren-coop.com E-mail:info@tochigikenren-coop.com

VOL.24 冬号



ごあいさつ 栃木県生活協同組合連合会 会長理事 竹内 明子

明けましておめでとうございます。

昨年は世界に不安定なことが多く、慌ただしく過ぎて行きました。振り返ればこの一年、気候変動による災害が日本を含めた世界各地で甚大な被害をもたらしています。この状況は温暖化によることが大きいと言われて

います。一昨年パリで行われた気候変動枠組条約第23回締約国会議(COP23)に先立ち、IPCC から温暖化問題がもはや待たなしの状況であると発表されました。

温暖化問題の深刻さが世界の国々で認識され、発展途上国も含めてパリ協定が発効されました。CO2の削減に向けて、大きな一歩を踏み出したと言えます。

生協では、全国の生協が一致して削減に向けた数値を掲げています。そして、この掲げた目標を着実に成せるように努力することが求められています。より多くの皆様と共に削減に向けて動ければと思っています。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

機関会議

10月27日 2017年度理事長・専務会議を開催



■演題「モノづくりの極意、人づくりの哲学」

■講師 エーザイ株式会社 執行役員 知創部長 高山 千弘 氏

アルツハイマー型認知症およびレビー小体型認知症の症状進行を抑制する薬アリセプトの開発でも知られる株式会社エーザイでの「モノづくり、人づくり」のお話を伺いました。

「葉を売るのではなく、社会を変える」という理念に基づき、弱者の立場に寄り添った社会的意義のある事業を、困難を乗り越えて創造していく過程をお聞きしました。働きやすい環境づくり、心を育む社員研修のあり方、参加・共創による新しい地域社会への取り組み等々、貴重な実例を交えての具体的なお話は、生協組織のリーダーにも求められている大事な内容であり、多くを学ぶ事ができました。

理事会、常務理事会を開催 11月14日・第4回常務理事会、12月12日・第4回理事会

11月～12月 行政の審議会・会議等および他団体の運営・会議等への参加

11月	12月
9日 栃木放送番組審議会	2日、3日 全国生協立社会福祉人交流会(福岡県)
11日 第3回賀川豊彦シンポジウム	11日 栃木県労働福祉協議会幹事会
22日 第11回食肉センター整備検討協議会	12日 福祉事業団体忘年会
28日 日生協地連運営委員会・県連活動推進会議	14日 栃木放送番組審議会
28日 第2回栃木県HACCP推進会議	16日 宇都宮大学名誉教授藤本先生を偲ぶ集




栃木県生活協同組合連合会 会員生協

会員生協	栃木県職員生活協同組合・宇都宮市職員生活協同組合・アリス那須グループ生活協同組合・生活クラブ生活協同組合・よつ葉生活協同組合・とちぎコープ生活協同組合・栃木県学校生活協同組合・宇都宮大学消費生活協同組合・足利工業大学生協同組合・栃木保健医療生活協同組合・栃木県労働者共済生活協同組合(全労済)
賛助会員	企業組合とちぎ労働福祉事業団・中央労働金庫栃木県本部・社会福祉法人ふれあいコープ・生活協同組合パルシステム茨城・生活協同組合パルシステム群馬

機関会議

2017年度 役員・幹部職員定期学習会

会員生協の役職員を対象に、社会問題の背景を継続的に学び、力量を強化することを目的に毎月開催しています。

10月20日 第3回 共生社会における生協の役割	11月20日 第4回 世界の人権問題と日本	12月21日 第5回 気候変動とエネルギー転換
		
第2回学習会「これからの社会と生協における福祉事業～地域共生の町づくり～」を受け、自分が考える「豊かな社会、生きやすい社会」とはどのようなことなのか、また、それぞれの組織の中で、どういった役割を果たしていく事が大事なのか等、ワークショップと全体討論を行いました。	講師:東京大学大学院総合文化研究科 准教授 キハラハント 愛 氏 国連の人権・平和活動専門家として活躍された先生は、人権侵害の定義や法、具体的な活動を事例を交えてお話しください、初めて何うお話しに驚きを覚えました。日本では人権問題という他人ごとと捉えがちですが、実は日々の暮らしに密接した自らの問題であることに気付かされました。	講師:日本環境会議理事長・一橋大学 名誉教授 寺西 俊一 氏 環境の問題は広域に渡り、様々な事象を含んでいるため、5、6、7回と3回連続で学びます。第5回、6回は、環境問題のご著書も多く出版されている寺西教授にご講義をお願いしました。次回はSDGsに関連したお話しを何う予定です

福祉部会を開催 <10月30日第5回、12月4日第6回>

【構成】佐野日本大学短期大学教授山田 昇 氏、全労済栃木、保健医療生協、とちぎ労働福祉事業団、ふれあいコープ、とちぎコープ、よつ葉生協、生活クラブ生協、栃木県生協連(事務局兼任)

4月～6月に全県の組合員約11,000人から回答を得た「暮らしのお役立ちのためのアンケート」の集計をする中で、「暮らしの困りごとを助け合うシステム」や「なんでも相談できる窓口」などの必要性が見えてきました。そこで、今後の活動につなげるため、地域に先駆けて「おたがいさま活動」や「暮らしの電話相談(とちぎコープと共同開設)」を実践している社会福祉法人ふれあいコープの「おたがいさま事務局長 池田 静枝 氏」にお越しいただき、事例を交えてお話しを伺いました。

くらし部会を開催 <地域3生協とともに、食育や環境、男女共同参画等、暮らしに係る様々な活動を行います>

ECO テック&ライフ 2017～広がりエコ行動の輪～に出展しました(栃木県地球温暖化防止活動推進センター主催のエコイベント)。生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープの地域三生協で出展し、それぞれのテーマに基づいてエコクイズ等を行いました。700枚用意したクイズが足りなくなるほど盛況でした。

よつ葉生協	田んぼの生き物調査、田んぼが生き物を育て生き物が田んぼを育てる
生活クラブ生協	リユースビンの実物展示と生活クラブのグリーンシステム説明
とちぎコープ	食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう!



2017年度・食と農をつなげる会を開催 <12月14日>

JA女性会と生協連会員の地域の役員・職員が集まり、農業従事者、消費者、それぞれの立場を知ることが目的に開催しています。今年度は互いの食育の取り組みについて情報交換し、地域に持ち帰るとともに活動できることを目指して、食育の事例報告と分散会交流を行いました。参加者約70名



ネットワーク活動

とちぎ食の安全ネットワーク

【構成】宇都宮大学名誉教授、全農栃木、酪農とちぎ、フワ! 食品塾、こいしや食品塾、備前井食品、株式会社宇都宮百貨店、地婦連、労働協、JA 栃木中央会、よつ葉生協、とちぎコープ、生活クラブ生協、生協連(事務局兼任) 【アドバイザー】関東農政局、栃木県、宇都宮市、栃木県食品産業協会

■10月24日 食品安全セミナー <県と共催>

食の安全の問題に関し、特に子育て層の方に参加していただくため、昨年からは幼稚園や認定こども園などに出向いて学習会を開催しています。今回は「虹ヶ丘認定こども園(那須塩原市)」で行いました。参加者から日ごろ感じている食に関する疑問も出て、食の安全・安心を考える良い場となりました。

- ・講話①「食品の安全性について」 講師:県保健福祉部生活衛生課 副主任 加藤 良江 氏
- ・講話②「食品事業者における食品の安全性確保の取組み」 講師:とちぎ食の安全ネットワーク代表世話人 竹内 明子 氏



■12月7日 2017年度第2回食品安全セミナー <県、宇都宮市と共催>

ノロウイルスによる食中毒が発生しやすい冬季に、現状や対策について情報提供を行い、予防法等への理解を深める機会としました。また、子育て層も参加しやすいよう、無料保育を併設しています。

- 基調講演「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」
講師:国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 第四室長 野田 衛 氏
- 報告:「県における食中毒予防の取組」 栃木県保健福祉部 生活衛生課 食品安全推進班

■11月9日 2017年度第5回食の安全ネットワーク世話人会

世話人の宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏より「脂肪の摂取状況の特徴とトランス脂肪酸の問題点」について解説いただきました。その他、県や参加団体からの報告を行いました。

とちぎ消費者ネットワーク

【構成】学識者、弁護士会、司法書士会、商工会議所連合会、商工会連合会、自治会連合会、消費生活アドバイザー連絡協議会、NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット、NPO 法人とちぎ消費者リンク、地婦連、JA栃木中央会、中央労働栃木県本部、とちぎコープ、よつ葉生協、生協連(事務局兼任) オブザーバー…栃木県銀行協会

■11月21日 2017年度第5回消費者ネットワーク幹事会

幹事の服部有弁護士より、「栃木県弁護士会消費者問題対策委員会の活動報告」を伺いました。その他、行政訪問の具体化や、活動報告、参加団体の報告等を行いました。

■行政訪問を実施しています

今年度4月に県内23自治体より回答頂いた「消費者行政に係るアンケート」の結果をもとに、消費者行政の充実のため、行政訪問を行っています。

11月27日・矢板市	11月30日・佐野市	12月22日・真岡市	1月19日・大田原市
------------	------------	------------	------------

■2017年度とちぎ消費者カレッジ、全日程終了

成人間もない若者が消費者被害に遭う率が高いことから、県の委託を受けて学生を対象に開催している「とちぎ消費者カレッジ」の今年度日程が終了しました。11校12会場で開催し、合計950名が参加しました。

回	開催校	演題 (講師は弁護士および消費者問題専門家に依頼しています)
1	自治医科大学	それってマルチ商法かも…簡単に儲かる話はありません!～20歳になる前に知っておきたいトラブル事例～
2	足利工業大学	若年者の消費者トラブル～最近、扱ったり問題となっている事例の紹介～
3	文星芸術大学	それってマルチ商法かも…簡単に儲かる話はありません!～20歳になる前に知っておきたいトラブル事例～
4	県立衛生福祉大学	「消費者クイズ」～キミが社会に出る前に～
5	白鷲大学	防ごう! インターネット・スマホの消費者トラブル～消費者目線を書いた企業人になろう～
6	作新学院大学女子短大	悪徳商法防衛術～あなたのお財布を守ります～
7	栃木県農業大学校	インターネットトラブルについて～ネットを賢く使おう!～
8	宇都宮共和国	ネットトラブルと契約・20歳の契約～通信に関する契約とトラブル、20歳の契約とお金～
9、10	作新学院大学	悪徳商法にご用心!～若者を狙う悪徳商法の手口と対策～
11	宇都宮大学	インターネット社会の落とし穴～ネット関連トラブルとその対処法～
12	國學院大学栃木短大	消費者問題のイロハを学ぼう～就職する前に知っておきたいこと～